

# お母さんになったら

## 28年度 10月号

絵本はいつ頃から見せたらいいでしょうか？

(0歳児から2歳児)

今からの時期、だんだんと秋も深まり、絵本と向き合うにはとても良い気候です。

0歳児では、10か月頃からイメージができると言われています。大人の言葉に敏感になる頃です。子どもとの対話に留意し、繰り返し絵本に慣れ親しむことが発声を促すことにつながります。また、絵本を選ぶときには、安全なインク、厚手の紙、本の角が丸いものなど、子どもが“遊ぶ”（さわる、なめる、噛むこと）に配慮されているかを確認しましょう。

1歳児は、身近な出来事に題材をとった擬音で構成されているような絵本を選びましょう。

「食事・排泄・睡眠」は切り離せない重要な生活の一部です。だから身近な話題でしかも擬音構成の楽しいを好みます。

2歳児は、絵本に向き合う姿勢が出来上がってきます。大人がページをめくるたびに次はどうかを予測しながら聞くことができるようになります。絵本の世界に入りこんで会話も盛んになります。ゆっくりゆっくり絵本を見たり、読んだりしましょう。

乳幼児期ははじめて絵本と出会う時期です。大切な時間にしましょう。

